

申込書類記入に関する注意点

記入漏れ、誤記入により「無資格」になる場合がありますので、記入後は必ず確認をしてください。

▶ 氏名

申込書一枚目の氏名記入欄は、姓・名の区別のない氏名の方は、姓の欄にご記入ください。その他、収入・家族構成、推薦状、研究計画書、小論文の氏名記入欄は、漢字圏の方は漢字、それ以外はカタカナでご記入ください。

▶ 対象学年

修士課程3年制、法科大学院、専門職大学院、薬学系研究科、医学系「工学」専攻などは、その課程の修業年限によって対象学年が異なる場合があります。いずれの課程でも、課程修了の最後の2年間が対象となります。

▶ 在留資格

申し込み時点で、「留学」、「難民」（地区奨励は、「留学」、「難民」、「研修」、「文化活動」）でなくても、申し込みは可能です。翌年3月25日までに在留資格を変更した「在留カード(PDF)」をご提出ください。申込時点では、その時の在留資格をご記入ください。

▶ 指定校制度

当会の指定校制度は、日本国内34地区に分かれるロータリー地区毎に、その地域内に所在する学校キャンパスを指定校とする制度となります（下記「地区を越えた指定校」以外）。奨学金が始まる年の4月に在籍予定のキャンパスが、指定校になっていない場合は申込みできません。また、複数の県にまたがってキャンパスを持つ学校は、同じ学校でもキャンパスごとに指定校になっているかをご確認いただく必要があります。

▶ 大学院、5年一貫制博士課程

博士一貫性制をとっている大学院は、前半2年間を修士（前期）相当とし、後半3年間を博士（後期）相当とします。そのため、奨学期間の始まる4月現在の学年が、博士一貫制1,2年を修士1,2年、博士一貫制4,5年生を博士課程2,3年生として応募対象とします。入学年月、卒業年月も前期と後期に分けてご記入ください。

▶ 指導教員からの推薦状

- (1) 経済的な困窮度は、選考の対象となりません。推薦内容は、経済面以外の内容をご記入ください。
- (2) 推薦状を、推薦者経由にて学校担当者に渡される場合は、必ず厳封してお渡しくください。
- (3) ワードなどで打ち込む場合は、指定用紙の内容と同じ項目を記載し、必ず押印をしてください。
- (4) 4月に、進学・編入学する学生は進学・編入学先の教員ではなく、現在の指導教員による推薦状を提出していただきます。
- (5) 学部生は、「指導教員もしくはこれに準ずる教員」とします。

▶ 研究計画書・小論文

必ず本人が日本語でご記入ください。横書き800字以内（所定用紙2枚）となります。内容は誰にでもわかるように、わかりやすい内容としてください。